



2019年10月2日

各 位

株式会社バルクホールディングス  
代表取締役社長 石原紀彦  
(コード番号：2467 名証セントレックス)  
問合せ先：上席執行役員CFO 高橋 恭一郎  
電話番号：03-5649-2500(代表)

### (開示事項の経過)

## 当社連結子会社による米国LAコマーシャルアリーナにかかる 販売及び運用サポート等の契約先を相手方とする仲裁の共同申立てに関するお知らせ

当社連結子会社Strategic Cyber Holdings LLC（以下「SCH」といいます。）は、事業パートナーであるCyberGym Control Ltd.（本社：イスラエル ハデラ市、代表者：Ofir Hason,CEO/以下「サイバージム」といいます。）と共同で、米国LAコマーシャルアリーナにかかる販売及び運用サポート等の契約先を相手方とする仲裁の申立てを行いましたので、以下のとおりお知らせいたします。

### 1. 経緯

2019年1月28日付「(開示事項の経過) 当社連結子会社による米国LAコマーシャルアリーナにかかる販売契約及び運用サポート等契約の締結に関するお知らせ」にて公表いたしましたとおり、SCHは、事業パートナーのサイバージム（以下、SCHとサイバージムの併せて「申立人ら」といいます。）と共同で、米国カリフォルニア州ロサンゼルス市にCyber Arenaを建設し、サイバーセキュリティトレーニングサービスを提供することを目的として、Aventador Cyber Solutions LLC（現在の商号：Ardent Cyber Solutions LLC、以下「被申立人」といいます。）との間で、Cyber Area Sale Agreement及び関連契約（以下、併せて「本契約」といいます。）を締結いたしました。

しかしながら、被申立人は、2019年8月28日付「(開示事項の経過・変更) 当社連結子会社による米国LAコマーシャルアリーナにかかる販売契約及び運用サポート等契約の現況に関するお知らせ」にて公表いたしましたとおり、本契約に基づくCyber Arenaにかかる代金支払の義務等を怠り、申立人らからの書面での要求に対しても応答がなく、履行がなされないまま現在に至っております。

かかる履行遅滞は、重大な契約違反にあたることから、申立人らは、本契約違反に基づく損害の適切な回復を求めて、本契約の定めに従い、2019年9月27日付でJudicial Arbitration and Mediation Services（以下「JAMS」といいます。）宛てに仲裁の申立てを行いました。なお、本仲裁は、ニューヨーク州法に準拠し、JAMS Comprehensive Arbitration Rules & Proceduresに従い、ニューヨークを仲裁地として行われます。

### 2. 被申立人

- (1) 名称 : Ardent Cyber Solutions, LLC
- (2) 所在地 : 1007 Euclid Street, #3, Santa Monica, CA 90403, USA
- (3) 代表者氏名 : Ryan D. Clarke (本契約締結時 : Paul Paradis)

### 3. 今後の見通し

被申立人の重大な契約違反は明らかであることから、当社はSCHの主張の正当性を確信しております。ただし、本仲裁による損害の回復の内容及び金額は未確定のため、当社の連結業績に与える影響は不明です。

なお、2019年9月10日付「2020年3月期通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」にて公表いたしましたとおり、米国LAコマーシャルアリーナの販売及びこれに伴う保守料等として、当期において約5億円程度の売上高を見込んでおりましたが、これを当期の計画から除外し、修正後の連結業績予想に織り込み済みです。

以上